



事前申し込み制・参加費無料

令和5年

日時 **10月29日[日]** 13:00 ▶ 17:10
(12:30 開場)

会場 **沖縄県立博物館・美術館**
沖縄県 那覇市 おもろまち3丁目1番1号

定員 **100名**(申込み先着順)



／ 歴史文化・サイエンス・教育・まちづくりなど、首里城に関連した多様な研究や取組を共有します。／

13:00 開会の挨拶 (沖縄県立芸術大学長 波多野 泉 氏)

13:05 第一部 基調講演 高良 倉吉 氏 「首里城復興の現在地と今後の展開」



高良倉吉先生

14:00 第二部
口頭発表 (3題) 「首里城正殿の復元と首里城公園の多様な活用に向けて」
「首里城正殿二階の御書扁額について」
「首里城正殿再建に使用する県産木材の基準強度評価 プロジェクト」

15:05 第三部 ポスターセッション(16題)

16:10 第四部
パネルディスカッション 「復興の現在地と今後の展開と学術ネットワークの役割」

プログラム詳細
はこちら



17:05 閉会の挨拶 (琉球大学長 西田 睦 氏)

協力：一般社団法人ものづくりネットワーク沖縄、SCSK株式会社、NPO法人首里まちづくり研究会

後援：一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー、内閣府沖縄総合事務局、那覇市

問い合わせ先：琉球大学 総合企画戦略部 地域連携推進課

Mail: chikikaku@acs.u-ryukyu.ac.jp

※フォーラム前日及び当日のお問い合わせは対応いたしかねますのでご了承ください。

詳しくは



琉大 首里城

で

検索

お申込みは

[こちら](#)

Try Me !





地域とともに豊かな未来社会をデザインする大学

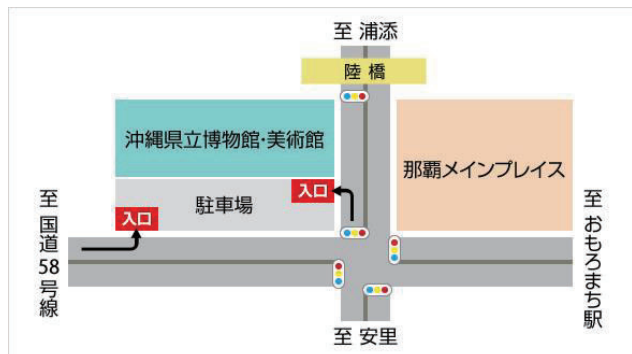
琉大未来共創フォーラム

Island wisdom, for the world, for the future.

ーアクセスマップー

車・レンタカー・タクシーでお越しの方

- 那覇空港から車で約30分。無料駐車場あり
 - ・一般駐車場：158台（うち身体障がい者用4台）
 - ・駐輪場：25台
- ※時間帯によっては、遅延が生じる場合があります。



沖縄県立博物館・美術館周辺の地図



バス・モノレールをご利用の方

イベント終了時刻は車通りが増えてくる時間帯（17:30-18:30）ですのでお帰りの際はモノレールのご利用もおすすめです。
詳しくは、右記QRコードからご確認ください。



ー参加登録ー

ご参加までの流れ

- ①下記URL又はQRコードから、お申し込みフォームへアクセスし必要情報をご入力ください。
- ②必要事項を記入し、参加登録完了のメールをご確認ください。
- ③当日は、沖縄県立博物館・美術館にて開催いたします。



お手数ではございますが、複数名で一緒にご参加予定でもお一人ずつ申し込み登録をお願いいたします。

※ご記入頂きました個人情報は本フォーラム開催準備の為に使用いたします。個人情報は、主催関係者を除く第三者に開示・提供することはありません。

ご参加申し込みは下記URLから承ります

動画は後日オンデマンド配信します

お申し込みURL：<https://forms.office.com/r/5BmG45WnQg>

※サイト内必要事項のご記入を宜しくお願い申し上げます。

※申込受付締切：令和5年10月25日（水）17:00迄



〈問合せ先〉
琉球大学総合企画戦略部地域連携推進課
TEL：098-895-8997
メール：chikikaku@acs.u-ryukyu.ac.jp

地域連携推進機構
YouTubeチャンネル▶

シンポジウムの様子は、後日地域連携推進機構のYouTubeチャンネルにてオンデマンド配信します。



沖縄県・沖縄県立芸術大学・琉球大学三者共催
第16回 琉大未来共創フォーラム
「首里城再興学術ネットワークシンポジウム 2023
～復興の現在地と今後の展開～」の開催について

琉球大学は、沖縄県及び沖縄県立芸術大学と三者共催にて、令和5年10月29日(日)に沖縄県立博物館・美術館(おきみゅー)にて第16回琉大未来共創フォーラム「首里城再興学術ネットワークシンポジウム 2023」を開催いたします。基調講演に高良倉吉先生を迎え、様々なステークホルダーのご協力のもと、全4部構成のシンポジウムを開催いたします。

事前申し込み制で参加費無料です。皆様奮ってご参加ください。

イベント申し込みフォーム: <https://forms.office.com/r/5BmG45WnQg>

※右記のQRコードからもお申込みいただけます。



申し込みフォーム

イベント公式WEBページ: [https://res.skr.u-](https://res.skr.u-ryukyu.ac.jp/shurijo_symposium2023.html)

[ryukyu.ac.jp/shurijo_symposium2023.html](https://res.skr.u-ryukyu.ac.jp/shurijo_symposium2023.html)

※右記のQRコードからも閲覧可能です。



イベント公式
WEBページ



歴史文化・教育・まちづくりなど、首里城に関連した多様な研究や取組を共有します。

【イベント趣旨】

沖縄県は令和3年3月に首里城復興基本計画を策定し、首里城の復元はもとより、首里城に象徴される沖縄の歴史文化の復興(ルネサンス)に取り組むという基本方針のもと、様々な関係者と方向性を共有し計画を着実に推進することを表明しました。沖縄県立芸術大学は開学以来、伝統芸術の継承と発展に寄与する人材の輩出に貢献する中、継続開催している文化講座・公開講座を通じて沖縄の歴史・文化の理解と普及に努め、沖縄の歴史文化のルネサンスの一翼を担っています。

琉球大学は、首里城再興学術ネットワークを立上げ、県内の大学等を核に広範囲な学術ネットワークを構築することにより、教育・研究面で首里城再興に貢献することを目指しているところです。

そこで、行政、芸術、人材育成、学術の面から首里城復興と沖縄の歴史文化のルネサンスに関わっ

ている沖縄県、沖縄県立芸術大学、琉球大学が合同し、関係者の協力を得て、シンポジウムを開催する。シンポジウムのねらいは、以下の4つとし、幅広い層の県民参加と様々な関係者の交流の場となることを目指しています。

- 1.参加者と首里城復興に関係する様々な取組を共有します
- 2.参加者に沖縄の歴史・文化の再発見の機会を提供します
- 3.参加者と歴史文化を基調とした沖縄の未来像を考えます
- 4.若年層を含めた沖縄県全域の幅広い層の県民に参加・交流の場を提供します

「首里城再興学術ネットワークシンポジウム 2023」について

【開催概要】

イベント名:第 16 回 琉大未来共創フォーラム「首里城再興学術ネットワークシンポジウム 2023」

主 催 者 等:(50 音順)

共催:沖縄県、沖縄県立芸術大学、琉球大学

協力:一般社団法人ものづくりネットワーク沖縄、SCSK 株式会社、

NPO 法人首里まちづくり研究会

後援:一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー、内閣府沖縄総合事務局、那覇市

日 時:令和5年10月29日(日)12:30~17:10 (12:30 開場 13:00開演)

開 催 形 態:ハイブリッド形式(対面&オンデマンド配信)

実 施 場 所:沖縄県立博物館・美術館(おきみゅー) 講堂及び博物館講座室
(那覇市おもろまち3丁目 1-1)

定 員 数:100 名

【プログラム】

時間		プログラム
13:00~13:05	5 分	開会あいさつ
13:05~13:55	50 分	第 1 部:基調講演
13:55~14:00	5 分	休 憩
14:00~15:00	60 分	第2部:口頭発表
15:00~15:05	5 分	休 憩
15:05~16:05	60 分	第3部:ポスターセッション
16:05~16:10	5 分	休憩
16:10~17:05	55 分	第4部:パネルディスカッション
17:05~17:10	5 分	閉会のあいさつ

(1)開会の挨拶:5 分 (実施場所:講堂) 沖縄県立芸術大学長 波多野 泉

(2)第1部 基調講演「首里城復興の現在地と今後の展開」:50分(実施場所:講堂)

琉球大学 名誉教授 高良 倉吉

【演者紹介】

沖縄史料編集所専門員、沖縄県立博物館主査、浦添市立図書館長を経て、琉球大学法文学部教授。博士(文学、九州大学)。定年退職後の2013年4月から2014年12月まで沖縄県副知事を務められました。琉球史の専門家として首里城復元事業の委員として参加され、首里城焼失後に沖縄総合事務局に設置された「首里城復元に向けた技術検討委員会」の委員長として首里城復元に尽力されています。

【講演概要】

首里城復元プロジェクトは私にとって、沖縄の過去・現在・未来を見通す仕事であった。多くの人びとの英知と努力を結集し、失ったものを取り戻す—その事業の一端を担う存在でありたかった。この覚悟は、個人的な動機からではなく、歴史を振り返ることによって与えられた責務だと理解している。そして、失ったものを取り戻す事業は様々な分野において推進されている。歴史が与えた、現在を生きる私たちの課題について述べたい。

(3)第2部 口頭発表(演者3名、各20分(発表15分+質疑5分)):1時間(実施場所:講堂)

首里城の復興及び沖縄の歴史・文化の再発見等に関する取り組みを行っている学術機関、行政機関及び団体等から選出された下記のテーマについて、各機関の代表者による発表が行われます。

- ①「首里城正殿の復元と首里城公園の多様な活用に向けて」
内閣府沖縄総合事務局 首里城復元整備推進室 副室長 勝美 直光
- ②「首里城正殿二階の御書扁額について」
沖縄県 土木建築首里城復興課 復元整備班 主幹 仲村 政克
- ③「首里城正殿再建に使用する県産木材の基準強度評価 プロジェクト」
琉球大学 工学部 教授 カストロ・ホアン・ホセ

(4)第3部 ポスターセッション(全16題):1時間(実施場所:博物館講座室)

関係機関から募集した首里城の復興及び沖縄の歴史・文化の再発見に関する研究・取り組みについて全16題のポスター発表を行います。

- ①「首里城再興学術ネットワークの紹介」
首里城再興学術ネットワーク 昆 健志
- ②「沖縄バスケットボールの起源および戦後復活の様相と首里城の関わり」
沖縄県立芸術大学 教授 張本 文昭
- ③「首里高生が挑んだ、100年前のリング復元」
沖縄県立首里高等学校 進路指導部 主任 嘉数 晋
沖縄県立首里高等学校 3年 知花 史騎

- ④ 「壁新聞から知る首里城と沖縄～文系フィールドワークの取り組み～」
沖縄県立那覇国際高等学校 地歴公民科 教諭 具志堅 加奈
- ⑤ 「首里城正殿赤瓦の金型製作における 3D デジタル技術・5 軸加工技術の活用」
一般社団法人ものづくりネットワーク沖縄 伊佐 和彦
- ⑥ 「首里城等文化財修復を見据えた森林・林業の取組について」
沖縄県 森林管理課 資源活用普及班 主幹 大城 慎吾
- ⑦ 「琉球大学首里城キャンパス時代に発掘された鉄製刀剣の分析及びデジタル・アーカイブの取得」
琉球大学 理学部 助教 小林 理気
- ⑧ 「道路街路樹として植栽されたリュウキュウコクタンの賦存量調査 –「三線の棹」の原材料に供給するための資源量の把握–」
琉球大学 農学部 教授 谷口 真吾
- ⑨ 「人頭税における障害者の処遇と生活に関する研究」
琉球大学 人文社会学部 講師 波名城 翔
- ⑩ 「久米島の蔵元跡からみる琉球王国の歴史と文化」
琉球大学 国際地域創造学部 講師 主税 英徳
- ⑪ 「戦前～戦後那覇市における市村合併の過程―那覇・首里・小禄・真和志の利害関係の変化―」
琉球大学 国際地域創造学部 准教授 星野 高德
- ⑫ 「―新・首里杜構想による歴史まちづくりの推進―」
沖縄県 首里城復興課 復興推進班 主任技師 宮下 草伸
- ⑬ 「首里城復興基金事業について」
沖縄県 首里城復興課 復元整備班 技師 新垣 翔也、首里城復興課 復元整備班 技師 田邊 朗仁
- ⑭ 「科学の目でみた首里城瓦の時代変化」
琉球大学 研究基盤統括センター 特命講師 青山 洋昭、島嶼地域科学研究所 講師 山極海嗣、博物館(風樹館) 助教 平良 渉、研究企画室 特命教授 昆 健志
- ⑮ 「デジタル技術が後押しする首里城復興」
SCSK 株式会社 地域共創事業開発部長 川端 卓、地域共創事業開発部 第一課 舟津 誠也
- ⑯ 『「古都首里を感じられる空間の創出、歴史文化資源等の保全・整備・活用」～生活エリアと観光エリアのゾーニングや、望ましい周遊のあり方について～』
NPO 法人首里まちづくり研究会 田場 隆浩

(5)第4部 パネルディスカッション:1 時間 (実施場所:講堂)

基調講演、口頭発表、ポスターセッションでの提言などを踏まえ、「復興の現在地と今後の展開と学術ネットワークの役割」をテーマに、首里城復興の現在地と今後の展開、学術ネットワークの果たす役割について、各分野の有識者による討論が行われます。

- ① 【学術】琉球大学 名誉教授 高良 倉吉
- ② 【行政】内閣府沖縄総合事務局 首里城復元整備推進室 副室長 勝美 直光
- ③ 【行政】沖縄県 土木建築部 参事 仲本 隆
- ④ 【街づくり】NPO 法人首里まちづくり研究会 副理事長 いのうえ ちず
- ⑤ 【街づくり】一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー 会長 下地 芳郎
- ⑥ 【街づくり】SCSK 株式会社 地域共創事業開発部長 川端 卓
- ⑦ 【ファシリテーター】琉球大学 理事・副学長 木暮 一啓

(6) 閉会の挨拶(琉球大学学長 西田 睦):5 分 (実施場所:講堂)